令和7年8月豪雨の特性
～2025年8月～9月の秋田県内の大雨について～

令和8年3月11日

秋田地方気象台

2025年8月から9月の大雨の特徴

① 7月は早い梅雨明け・猛暑・渇水対応
② 7月は渇水対応、8月5日以降雨の日が多く大雨対応が連続
③ 8月から9月に顕著な大雨事例が３回（3事例とも前線が関与）
④ 夜間や早朝に大雨（防災対応困難極める）
⑤ 予想を上回る短時間強雨（記録的短時間大雨情報＝以下”記録雨”）（浸水被害あり）
⑥ 秋田県付近に前線が停滞しやすい場となっていた
⑦ 前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流入
⑧ 上空の寒気の影響を受ける日もあった
⑨ 県北や中央、沿岸で大雨となった
⑩ 8月20日など同じところで雨雲が次々発生する日もあった（河川氾濫）
⑪ 8月から9月の大雨は降り続く雨と短時間強雨が混在
⑫ 後半になるほど河川氾濫が増加（9月2日は18河川で氾濫）

令和7年の大雨の特徴（印象）

大雨の要因となる背景場

地域特性など

2025年8月から9月の大雨（天気図・降水強度）

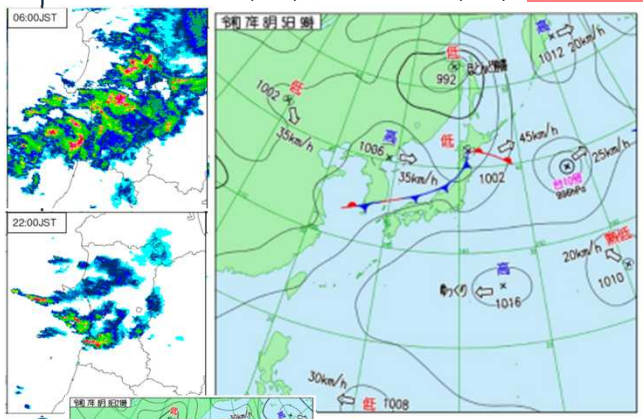
顕著な大雨事例が３回（上段）

秋田県付近に前線が停滞しやすい場となっていた
前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流入

8月5日（火）～9日（土）

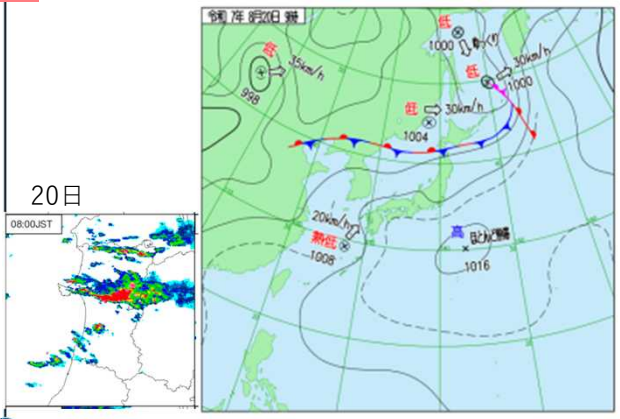
8/8 由利本荘市で記録雨

5日
8日



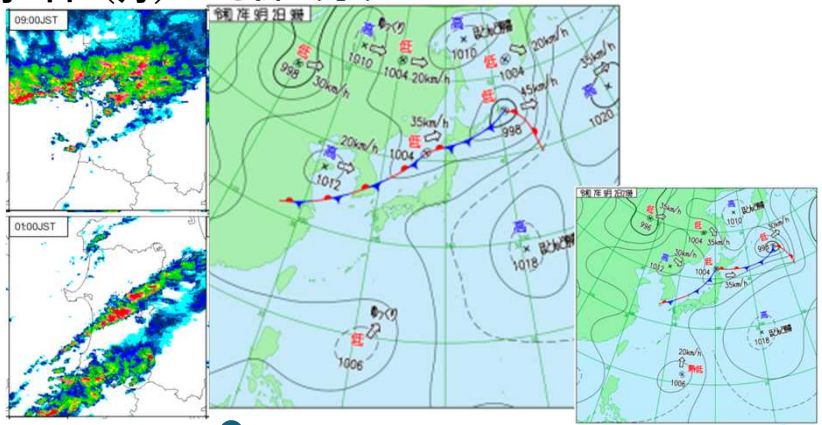
8月19日（火）～21日（木）

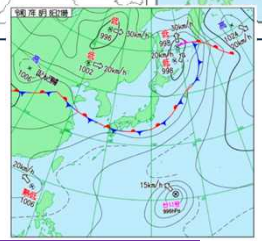
20日



9月1日（月）～3日（水）

2日
3日

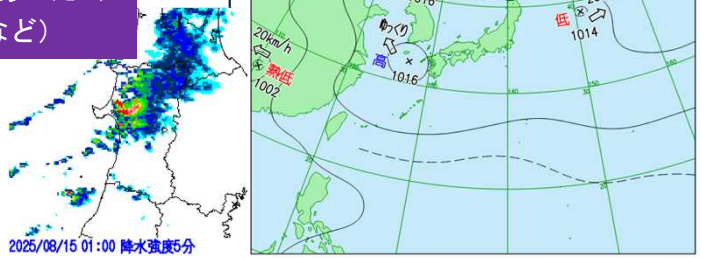




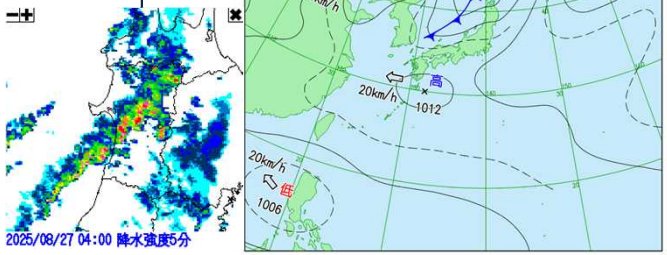
上空の寒気の影響を受ける日もあった（8/8の事例など）

8月15日（金）

8/15 五城目町で記録雨

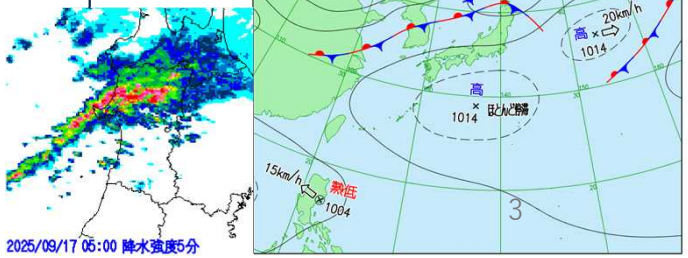


8月26日（火）～27日（水）



9月17日（水）

9/17 能代市で記録雨

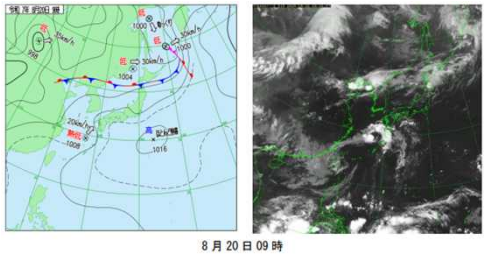


2025年8月から9月の顕著な大雨事例3回

- 2025年8月5日～9日の大雨（由利本荘市で記録雨）
- 2025年8月19日～21日の大雨（桧木内川氾濫）
- 2025年9月1日～3日の大雨（18河川氾濫）

災害時気象資料公表事例

2025年8月19日～21日の大雨
（桧木内川氾濫）



概況

気象概況

低気圧がオホーツク海へ進み、低気圧からのびる前線が21日にかけて東北地方をゆっくり南下し、**前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ**ため、東北日本海側を中心に大気の状態が非常に不安定となった。

気象記録

県内では、19日から21日にかけて、断続的に激しい雨や非常に激しい雨が降った所があり、仙北市桧木内で総降水量319.0ミリを観測するなど、平年の8月の月降水量を上回った所があった。

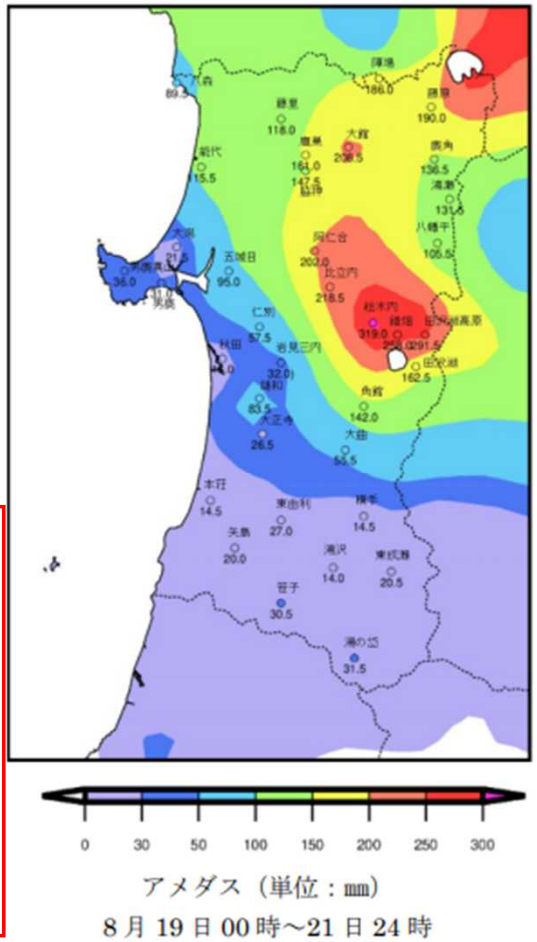
なお、仙北市桧木内では、48時間降水量319.0ミリ、72時間降水量319.0ミリを観測し、ともに観測史上1位の値を更新した。

災害概況

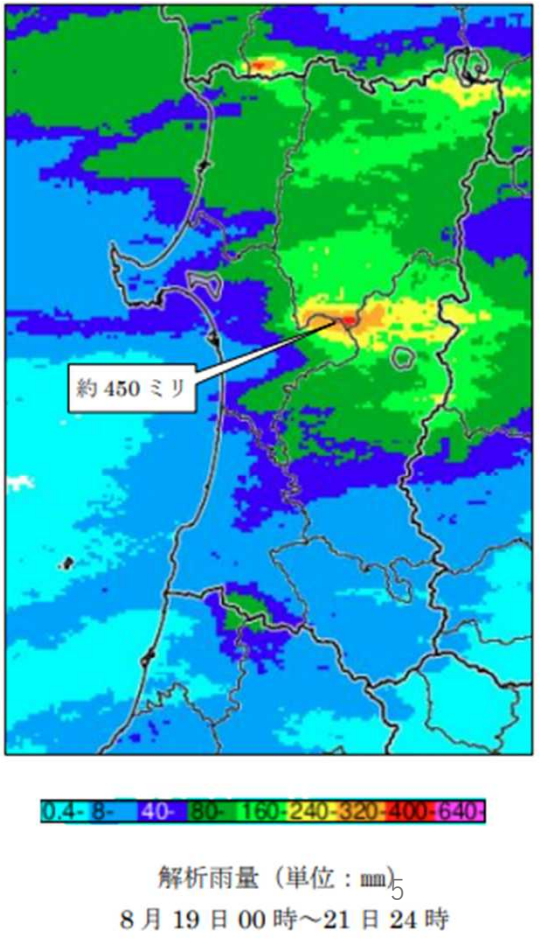
県のまとめによると、能代市、大館市、鹿角市、北秋田市、仙北市、上小阿仁村 で、住家の半壊や床上・床下浸水などが発生した。仙北市では桧木内川、北秋田市では摩当川、前山川、旧小猿部川、蟹沢川、能代市では悪土川が氾濫した。

また、土砂流入や道路損壊、冠水等により、小坂町、仙北市、北秋田市、鹿角市、能代市では、道路が一時全面通行止めとなった所もあった（9月8日13時00分現在）。

期間降水量分布図（アメダス、解析雨量）

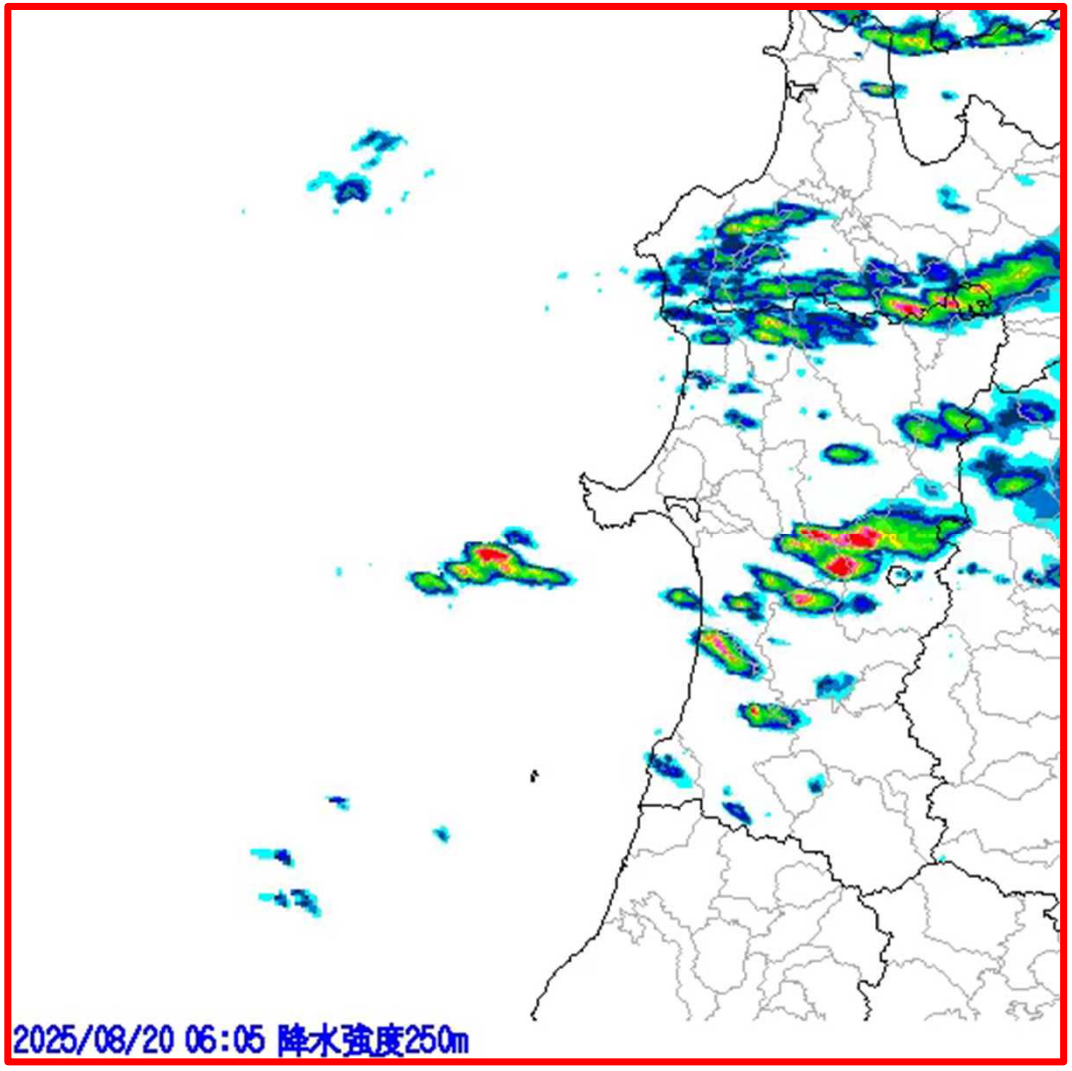


アメダス（単位：mm）
8 月 19 日 00 時～21 日 24 時



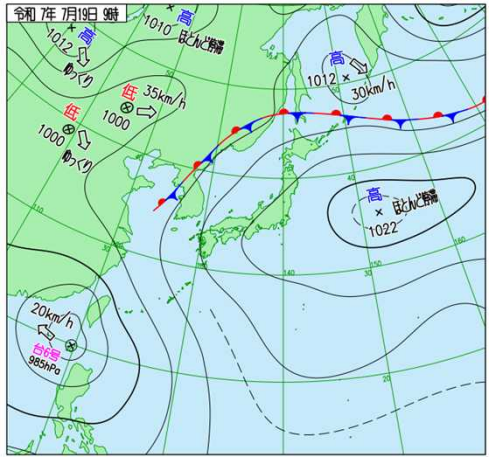
解析雨量（単位：mm）
8 月 19 日 00 時～21 日 24 時

2025年8月20日の大雨（桧木内川氾濫）

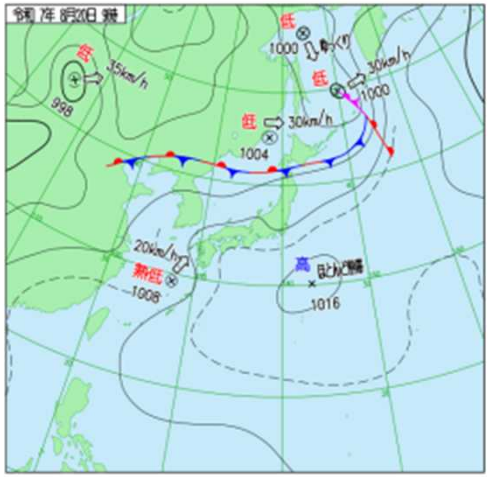


- 8月20日6時頃から、上層寒気や上空の気圧の谷の接近はないものの、地表面から大気の上端までの大気に含まれる水蒸気量が高まり、男鹿半島の南西海上で雨雲が発生・組織化しつつ東へ進んだ。
- 陸上で発生する地形性降水もやや強まり、海上から進んだ降水域と地形性降水が一体化したことで、6時頃から9時頃にかけて、桧木内川上流では雨のやむ時間がなく、連続して降水が続き、1時間に50ミリから70ミリの非常に激しい雨となった。

【まとめ】2025年8月から9月の大雨の特徴と留意点等



7月19日9時（梅雨明け翌日）



8月20日9時

① 時系列的推移

- **7月は渇水、8月5日以降雨の日が多く大雨が連続**
- **8月から9月に顕著な大雨事例が３回（3事例とも前線が関与）**
- 後半になるほど河川氾濫が増加

② 気象要因

- **秋田県付近に前線が停滞しやすい場となっていた**
- **前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流入**
- **上空の寒気の影響を受ける日もあった**

③ 降り方の特徴

- **夜間や早朝に大雨（防災対応困難極める）**
- 8月から9月の大雨は降り続く雨と短時間強雨が混在
- 8月20日など同じところで雨雲が次々発生する日もあった（河川氾濫）

④ 影響・被害

- 県北や中央、沿岸で大雨となった
- **予想を上回る短時間強雨（記録雨）（浸水被害あり）**
- 9月2日は18河川で氾濫（大雨続きで高水位、雨の量も多かった）

（留意点）次に同じような状況になったら、どこを見れば“気づける”のか

- 前線の位置（今年は前線が秋田県の北に位置することが多かった）
- 前線や低気圧に向かう暖かく湿った空気の流れ込み
- 寒気の影響（大気上層に寒気があると対流不安定となる）

（気象台の対応）

- 大雨が予想される際は、気象台から自治体に対して、防災メール等で、夜間に雨のピーク、局地的に猛烈に降るおそれ、既に地盤が緩んでいる、などと解説していきます。